

平成29年度日本NGO連携無償資金協力署名式典



平成29年8月18日（金）、平成29年度日本NGO連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、堀之内秀久特命全権大使と特定非営利活動法人ピープルズ・ホープ・ジャパンの福島菜見子プログラム・マネージャーが「コンポンチャム州母と子のための地域保健システム

強化事業（第3年次）」（供与限度額124,839米ドル）の贈与契約書に署名を行いました。

ピープルズ・ホープ・ジャパンは、2004年よりコンポントム州で始まった事業を皮切りに、農村地域における母子保健状況の改善や保健医療人材に対するトレーニングなどを実施してきました。2014年からはコンポンチャム州ストゥントロン郡において、保健センターのマネジメント能力の強化や保健ボランティアを通じた地域住民への保健教育の実施など、母子保健を中心とした保健システムの強化支援を行っています。3か年事業の最終年度である本年度は、各保健施設の人材能力強化や地域住民への正しい保健知識の普及だけでなく、これらの活動が地元の保健行政区にしっかりと引き継がれていくことが期待されています。

式典では、堀之内大使がスピーチを行い、今回の支援が対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うと述べました。ピープルズ・ホープ・ジャパンの福島プログラム・マネージャーが、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

